

B T A J - 2 5 - 0 4 1

2 0 2 5 年 6 月 1 8 日

関係各位

一般社団法人日本バトン協会  
理事長 内田圭子  
(公印省略)

## IBTF世界大会におけるリズミックトワール種目導入と日本代表選考について

時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2 0 2 6 年 8 月に開催予定の「2 0 2 6 年 I B T F 世界フリースタイル・リズミックトワール選手権大会」において、リズミックトワール種目が正式に導入されることが決定しましたので、ご報告いたします。

この追加決定につきましては、今年1月のI B T F 設立総会では、2 0 2 6 年大会でのリズミックトワール種目の実施は見送りの方向で発表されていました。しかし、その後の3月末の臨時ボーデ会議において、各国からの強い要望に応える形で、競技の普及・発展を目指したリズミックトワール種目の実施が移行期間として承認され、4月に正式決定・発表となりました。

当協会では、この急な決定による準備期間不足などを理由に難色を示しておりましたが、I B T F の決定を尊重するとともに、国内選手の育成および世界大会派遣機会の拡充を図る観点から、理事会で慎重に協議を重ね、積極的に取り組む方針といたしました。

2 0 2 5 年度全日本バトントワーリング選手権大会におきまして、フリースタイル個人種目のエントリー時にリズミックトワール出場希望の有無を確認し、日本代表選考において同時選考とし実施いたします。同時選考に伴う選考方法については、改めて詳細を報告させていただきます。

この度の急な変更により十分な事前告知が行えず、関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしましたが、何卒ご理解とご協力を願い申し上げます。

### 【リズミックトワール種目の特徴】

リズミックトワール種目は、WFNBTA（世界フリースタイル・ナショナルバトントワーリング協会）が提唱するもので、音楽性や表現力を重視し、バトン操作技術とダンス要素を融合させた芸術的な演技が特徴です。これはWBTF（世界バトントワーリング連盟）主導のフリースタイル個人種目と共通する演技コンセプトを持っています。

### 【フリースタイル個人種目との相違点】

リズミックトワール種目では、体操技を行うことが禁止されています。これは、フリースタイル個人種目では見られるような、アクロバティックな要素を排除し、よりバトンと身体表現に焦点を当てた競技として位置づけられています。この「体操技を省く制限（リストリクション）」が、リズミックトワール種目の大きな特徴であり、選手にとってはフリースタイル個人種目とは異なる演技構成と表現力が求められることになります。

引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

連絡先 一般社団法人日本バトン協会事務局

〒111-0033

東京都台東区花川戸 2-17-8 ハン六東京本店ビル 5 階

TEL:03-5830-7863 / FAX:03-5830-7864